

Stay Home & Think of Children

家にいよう そして子ども達のことを考えよう

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、滋賀県内のすべての小中学校が、5月末まで休校となりました。これにより、子ども達の考える力や社会性を育む機会が、3ヶ月以上にわたって損なわれ続けることとなります。新入生のみなさんも、入学早々から制限された大学生活を余儀なくされており、いろいろと心配な事もあるでしょうが、教育学部で学び始めた皆さんには、ぜひ子ども達のことを真剣に考えてほしいと思います。

今回の新型コロナウイルス禍で子ども達が被る被害は、学校における学びの機会の喪失だけではありません。例えば、貧困や虐待により、学校という居場所の喪失が大きな危機を招いている子ども達があります。また、10万円給付をはじめとする新型コロナウイルス対策費用の多くは赤字国債によるものですので、子ども達が将来得るはずであった資産の一部を、大人である私たちが使ってしまうこととなります。

もちろん、新型コロナウイルスがもたらす脅威から今の社会を守らなければ、子ども達が安心して成長できる未来もありません。だからこそ皆さんには、自分の目先の事だけを心配するのではなく、近い将来、皆さんの児童・生徒となる子ども達、さらにはこれから生まれてくる将来の世代に何が起こっているのかに、しっかりと目を向けておいてほしいと思います。皆さんに不自由なオンライン授業を強いていることは申し訳なく思いますが、自分一人でじっくりと考える時間が増えたこの機会を活かして、広く、深い視野で物事を考えることのできる人間に成長して欲しいと願っています。

滋賀大学教育学部

渡部 雅之